

2022 年度実施概要

学校名

船橋市立湊町小学校

採択活動名

環境守り隊

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 身近な環境問題について考えよう ～三番瀬から考える環境問題 Part 1～水～	4年	総合的な学習の時間
2. 自分たちの環境を守り隊！ ～身近に起きている環境問題とは？Part 2～地球温暖化～	4年	総合的な学習の時間

取り組みの概要

本校4年生の総合的な学習の時間の年間テーマは「環境」である。昨年度3年生の学習では、地域について学ぶ中で、自分たちの地域には「海」があり、その「海」は「三番瀬」と呼ばれる東京湾の生態系を支える干潟であることを学習した。さらに、その三番瀬を守ろうとする人や、三番瀬が育んでいる海の幸の魅力を伝えようと尽力する人たちと関わり、自分たちの地域の魅力を学ぶことができた。

今年度は、昨年度の学びを生かして「環境」というテーマにつなげたいという思いから、海や川を足がかりに学習を始めることとした。身近な環境問題と言っても、すぐにはイメージができないという意見が多かったため、実際に海老川の下流や船溜まりにフィールドワークに行き、水質調査やその場の様子を観察する活動に取り組んだ。すると、水が思った以上に濁っていることや、ゴミが多く落ちていることに気が付き、このままでは昨年度学習している海の生き物たちが生活できなくなってしまうのではないかとこの危機感をもった。これを受けて、船橋市環境保全課の方をゲストティーチャーに招いて、自分たちが疑問に思っていることに答えてもらい、船橋市の水は、たくさんの人の努力により年々きれいになっていることを知った。児童は自分たちの環境を守るために何ができるのか真剣に考えることができた。

ここまでの学習の成果を新聞やパンフレットにまとめ、授業参観の機会を使い、各家庭に啓発する活動に取り組んだ。また、調べ学習を進めていく中で、他の環境問題が関わっていることにも気が付き、前期の学習をまとめていく中で、後期の学習のきっかけを作ることができた。

後期の学習では、前期で出た海や川の環境問題としてあげられた、海洋プラスチックゴミの問題や水質汚染の問題は、地球温暖化に関わりがあることが分かり、地球温暖化とはどんな問題なのか、また、その問題の解決に向けて、今の自分たちには何ができるのかを考え、学習をまとめることができた。

